

平成29年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	次世代型アクティブセンサ搭載衛星の複合解析による雲微物理特性・鉛直流研究
研究代表者	岡本 創 (九州大学・応用力学研究所・教授) ※平成29年6月末現在
研究期間	平成29年度～平成33年度
コメント	<p>本研究は、3種類のライダーを同時に用いた次世代型アクティブセンサ解析システムを地上に構築し、そこで開発した雲の不確定性を軽減するアルゴリズムを同様の機器を搭載する人工衛星観測に適用し、全球スケールで雲物理と対流の物理過程を解明することを目的とする。</p> <p>応募者らの従来研究及び機器開発の実績を基に構築されるシステムにより、雲パラメタリゼーションに関する新たな知見が得られる等、大きな成果と国際的貢献が期待できることから、基盤研究（S）として推進することが適当と判断した。</p>